

世界の文字

—その誕生と普及—

S34卒同期会

嶋田 紀之

〔発表の要旨〕

1. ことばの誕生⇔知性の誕生
社会・経済の発達に伴う記録ニーズ
→文字の誕生→知識の飛躍的拡大
2. 文字の発達：絵(文字)→象形文字→表意文字
→表音文字(Alphabet)
3. 世界の言語は3～5千、主要文字は僅か5つ。
4. 文字の拡大・普及：先進文化圏→非先進圏
(特に宗教の普及と密接に関連)
5. 唯一の表意文字、漢字の奇跡。



世界の文字分布

Amharic alphabet	Devanagari alphabet	Lao alphabet
Arabic alphabet	Georgian alphabet	Latin alphabet
Armenian alphabet	Greek alphabet	Sinhala alphabet
Bengali alphabet	Hebrew alphabet	Thai alphabet
Burmese alphabet	Japanese script	Tibetan alphabet
Chinese script	Khmer alphabet	
Cyrillic alphabet	Korean alphabet	

目次

- I. 文字とは : 話し言葉と文字の違い
- II. 文字の起源 : 文字誕生の背景
- III. 世界の文字 : 最古の文字
文字の系統図
主要5文字
- IV. 分布・普及のメカニズム
- V. 漢字文化圏と日本文字

I.文字とは

1. 話しことばと文字（共に社会的な記号：**恣意的**）
≡ 約束事

◇話しことば

- ・人間集団（生活）があれば誕生（**自然発生的**）
- ・約20万年の歴史、世界には約3～5千言語

◇文字

- ・社会の高度化による記録・伝達ニーズから誕生
 - ・上から与えられた**人工的記号**（政策的・強制的）
 - ・約5千年の歴史
- 世界の文字は100以下（主要文字5）、

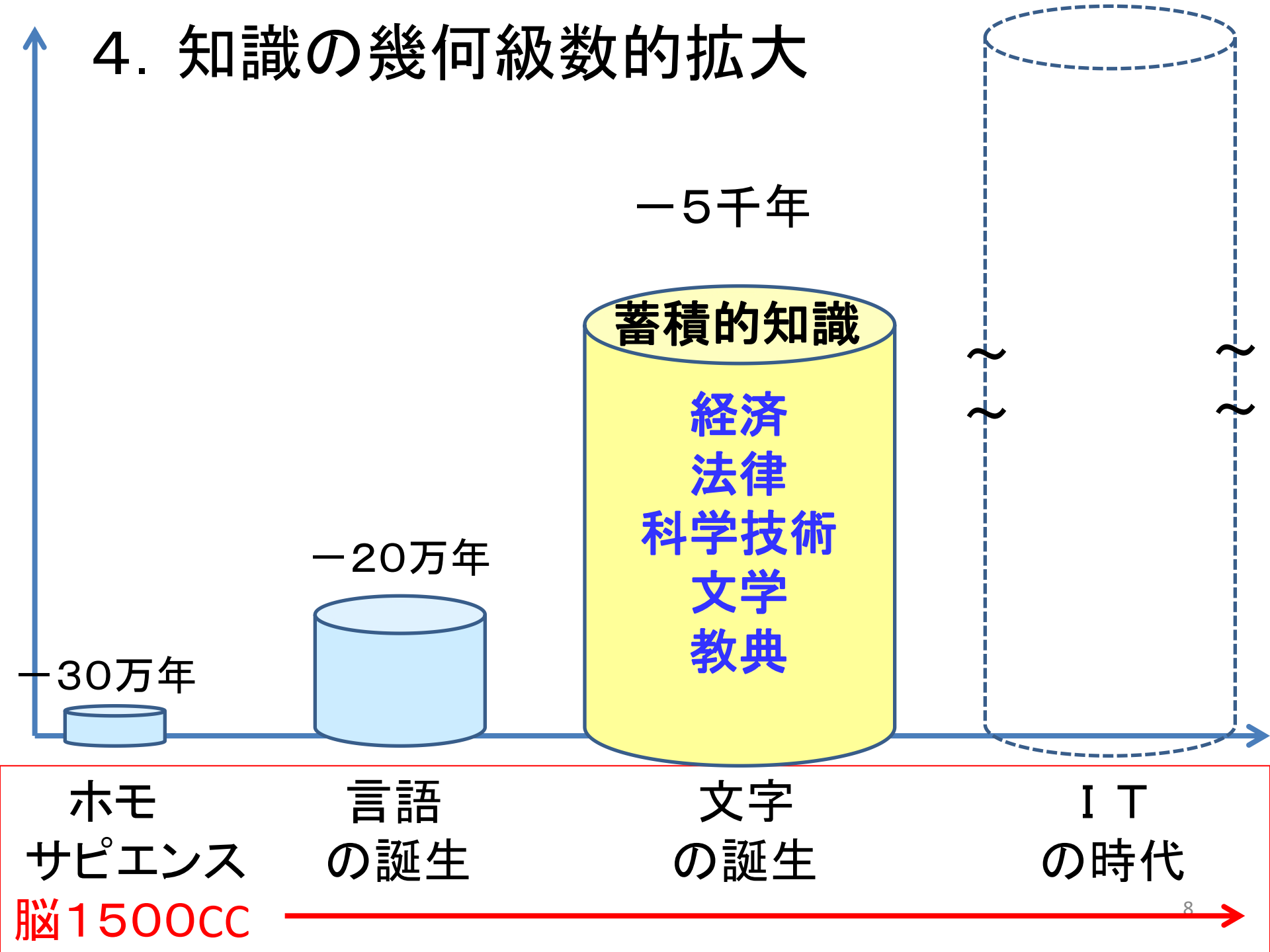
2. 話しことばと文字の違い①

	話しことば	文字(書きことば)
媒体	音波(記号化)→聴覚	文字(記号化)→視覚
形式	対面:音声発話(会話) 双方向 Communication	新聞、本、法典、法律等 一方向の情報伝達
特徴	Here & Nowの制約 時間順に伝達(線状的)	時空を超越 選択・検索可能
保存性	一過性(保存性なし)	記録性・保存性(本、文書) →社会の安定(契約,法規) 社会進歩(知識の蓄積、 科学技術)文字≡文明
誕生契機	約20万年前 共同生活→ことば	約5~7千年前 話し言葉→記録ニーズ →文字

3. 話しことばと文字の違い②

	話しことば	文字(書きことば)
発生形態	下からの自然発生的	上からの発明→下へ普及 (ex王→民)
数	5～7千言語	Max.100、 主要4文字(アルファベット、 アラブ、漢字、ヒンズー)
変種	Variationは無数(方言等)	Variationは少ない(統一的)
普及形態	言語接触→文明語が他 言語に影響	文明文字(主要文字) →無文字言語に普及
変化	迅速かつ常に変化 (言語接触・社会変化)	変化少・固定的(cf.正書法) 上からの政策的変化
習得	自然習得	教育が必要 (識字率≡文明度)

4. 知識の幾何級数的拡大



Ⅱ. 文字の起源 1.文字誕生の背景

◆文字の利点:「言葉は消え、文字は残る」

- ・**時空を超越**: 将来に残す記録(歴史の始まり)
遠距離への情報伝達(ex手紙・通知)
- ・情報の正確性: 正確な記録(証拠性、知識の蓄積)

◆社会の高度化(交易・交流) → 記録ニーズ

- ・政治的ニーズ: 王の偉業、法律、命令・通達
- ・宗教的ニーズ: 呪術、教典
- ・**経済的ニーズ: 交易・契約、租税**(作高・貯蔵、権利)
- ・技術的ニーズ: ex.土木工事
- ・その他伝達ニーズ: 物語、歴史(無文字＝無歴史)

2. 文字(記号)の種類

◇絵(文字): 特定の意味を表す記号

ex 禁煙マーク、立入り禁止



◆文字: 汎用的な記号

●表意文字: 記号が特定の意味を表す

ex. 漢字: 王、月、海

●表音文字: 記号が音のみを表す

(意味からの脱却)

・音素文字: 1文字 = 1音(子音、母音)

アルファベット(**a**, b, c, d...

・音節文字: 1文字 = 1音節(子音 + 母音)

ex 仮字文字: か(k**a**)

3.文字の変化：象形文字から表音文字へ

◆文字の変化(進化)

絵(牛→狩り(呪術的意味))



絵文字(ex.王座：権威、獅子：勇気)



象形文字(表意文字)



漢字(唯一)

(ex.ヒエログラフ)

(一部は表音文字化)



ex. 表意文字の語頭の音→表音文字

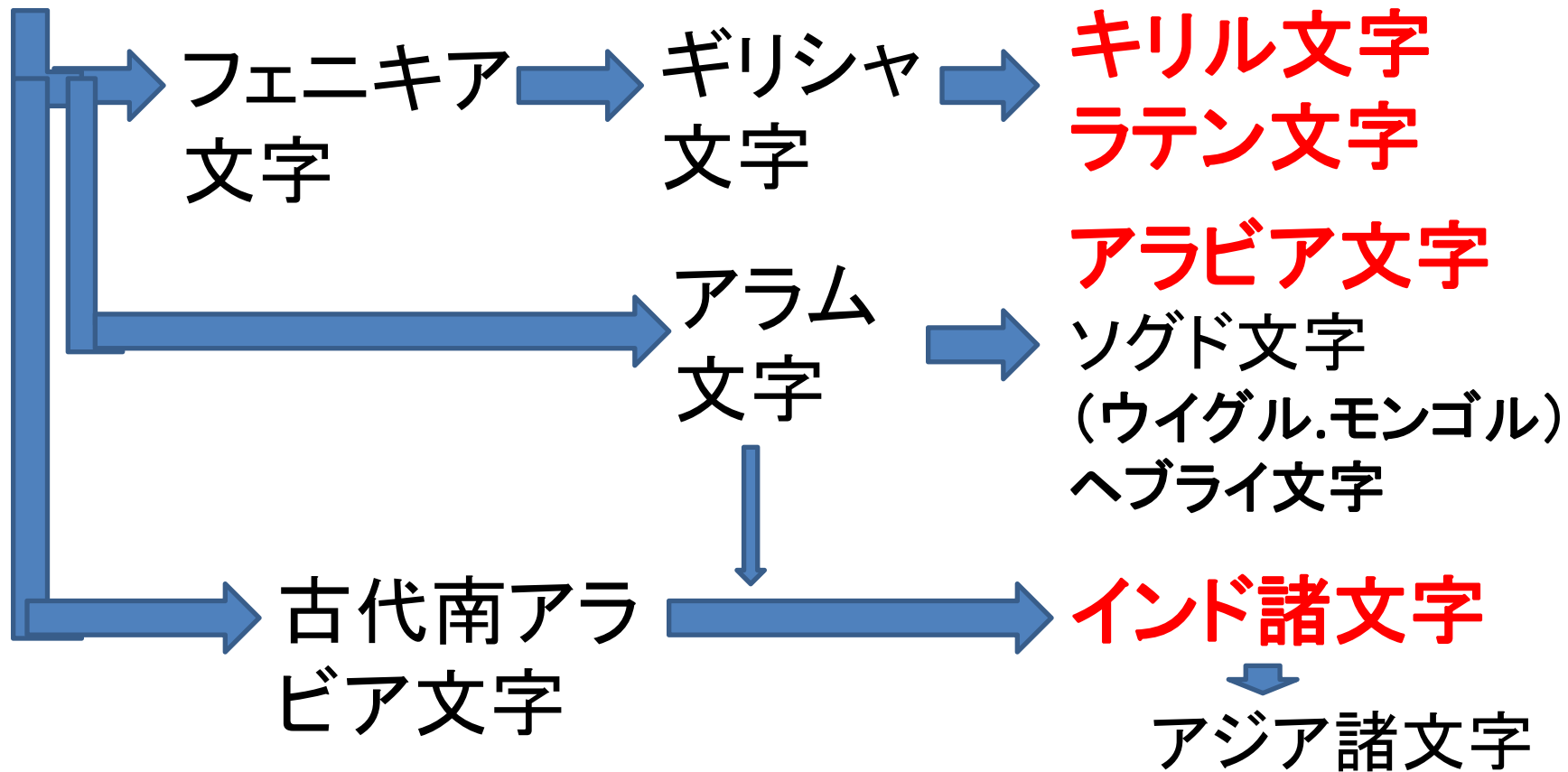
(ex. 牛(**A**lf)→**A**)

表音文字Alphabet(音素文字)、仮名(音節文字)

(音のみを表現する文字：意味からの解放)

Ⅲ. 世界の文字：1. 主要5文字

◆ 古代セム文字（古代エジプト）



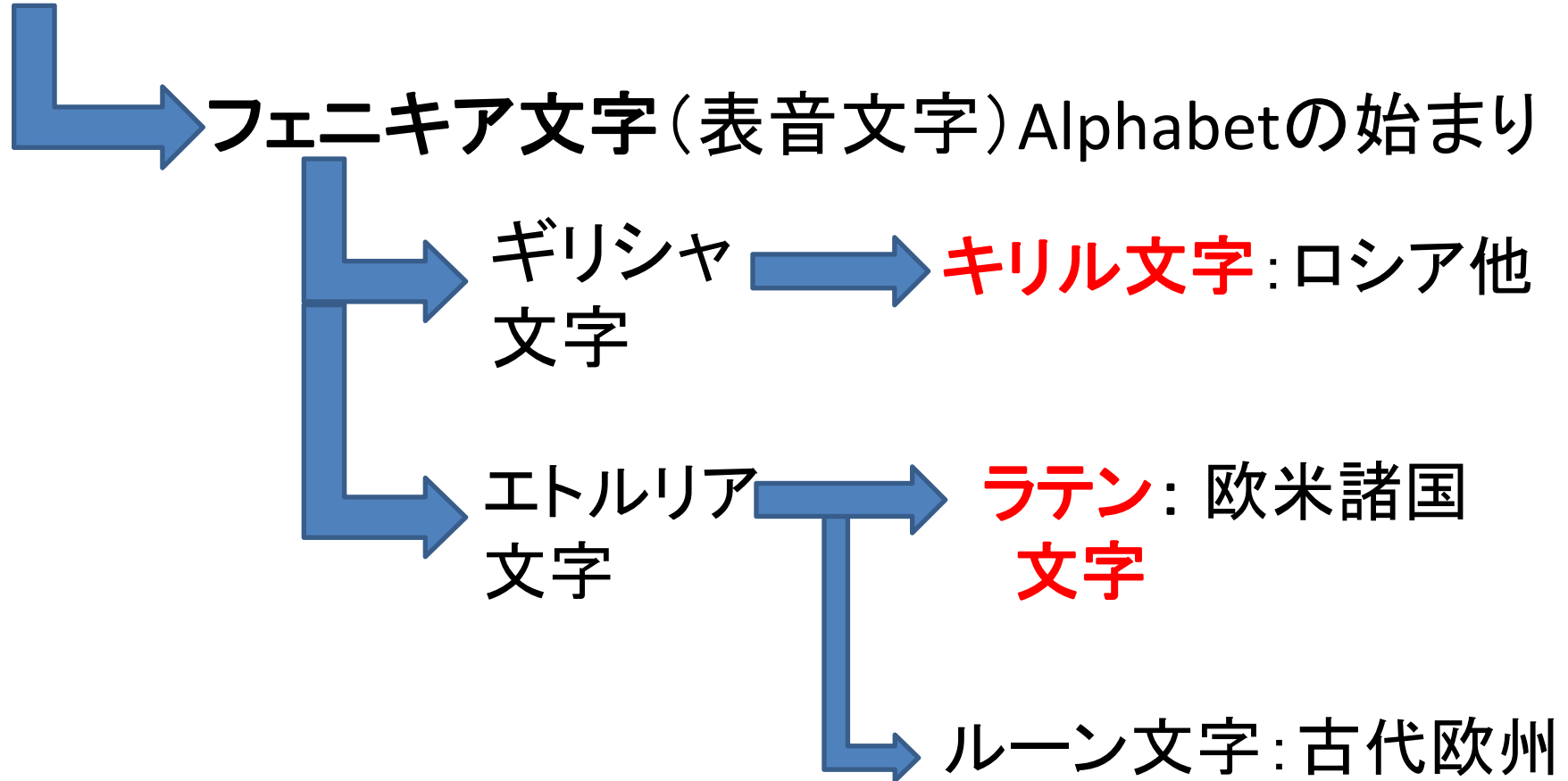
◇ 甲骨文字 → 漢字（表意文字）

↓
仮名（表音文字）

※消えた文字：楔形文字、中南米の文字

2. ラテン文字の系譜

古代エジプト文字(表意→表音文字)



3. 世界最古の文字

◇絵→絵文字→**文字**(象形文字→表音文字)

◇最古の文字

- ①楔形文字 (6千年前、メソポタミア)→消滅
- ②ヒエログラフ(5千年前、エジプト) →消滅
- ③甲骨文字 (3千年前、中国)→漢字として存続

その他

- ・クレタ文字(3千年前、ギリシャ、未解読)→消滅
- ・中南米(ex.インカ:ひも文字;2千年前、未解読)

4.最古の文字：楔形(くさびがた)文字



- ・粘土板に葦の棒で印字
- ・最古は会計帳簿
- ・6千年前よりメソポタミアに分布
 - ・表意→表音文字(文字数減)
表記の簡素化
 - ・書記(専門官)の育生
- ・シュメール人→アッカド人:別言語
→バビロン、アッシリア帝国
→ヒッタイト(印欧語)
- ・フェニキア、アラビア、ラテン文字
の母体となるが、楔形文字その
ものは消滅

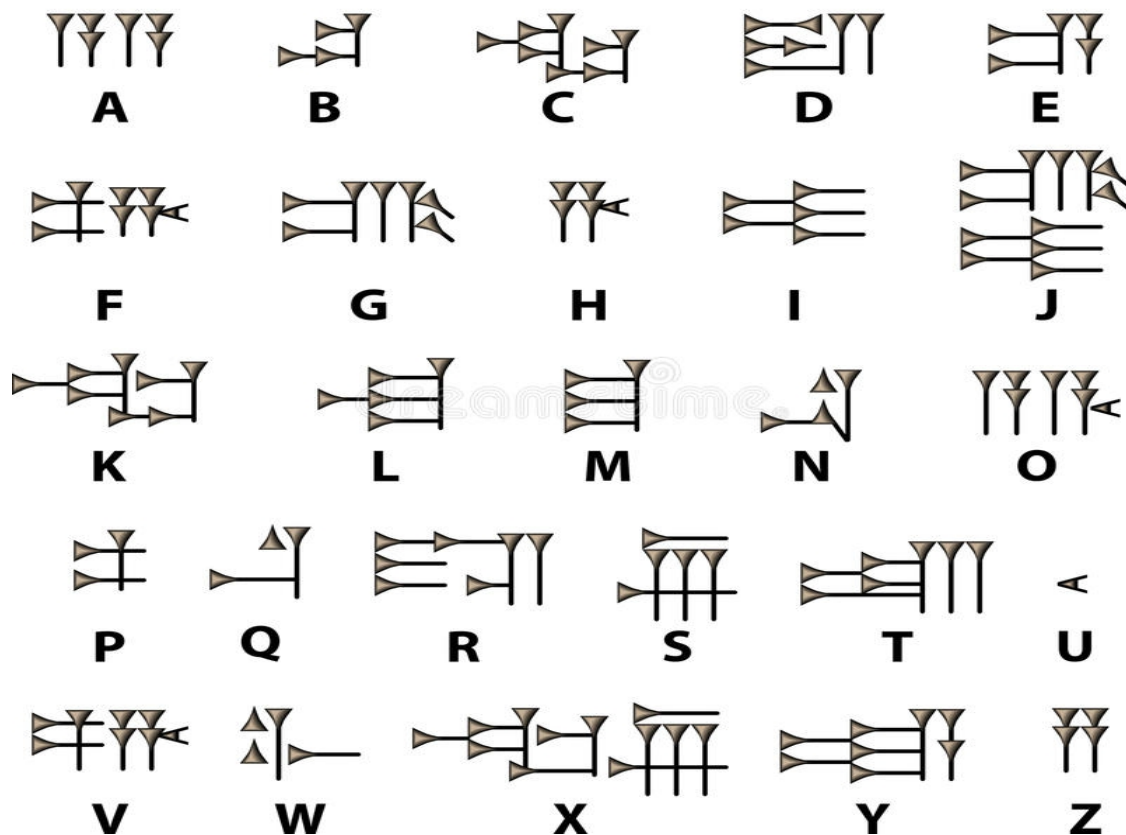
◆楔形文字

(表音文字)

- ・シュメール文字
- ・ヒッタイト文字
- ・アッカード文字

その後後継文字なく
消滅

Sumerian cuneiform



5. 最古の文字：エジプトヒエログリフ

◆ロゼッタ・ストーン



古代エジプト
ヒエログリフ（神聖文字）

表意（＋表音）文字

古代エジプト
デモティック
（草書体・民衆文字）

表音文字

ギリシア文字
表音文字

◇文字解読はミステリー

● ヒエログリフ

- ・ 1799: ロゼッタストーンの発見(ナポレオン遠征)
- ・ シャンポリオン(ギリシャ語、コプト語等を理解)
 - ・ カルトウーシュに着目(王の名前)
 - ・ 表意・表音の混在を発見

● 楔形文字

- ・ ペルセポリスの碑文
(古代ペルシャ語、エラム語、バビロニア語)
- ・ ローリンソン他

● クレタ島の線形文字(エバンス)

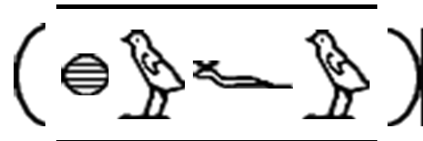
6. 古代文字の解読(ex.ヒエログリフ)

◇前提知識

- ・関連言語: ex.ラテン語、ギリシャ語
- ・同系統語: ex.コプト語

◇手がかり

- ・対訳の存在: ex.ヒエログラフとギリシャ語
- ・固有名詞: ex.王の名(カルトウーシュ)、地名
- ・頻出文字、語順etc



◇混乱要因

- ・同一文字を表意・表音に併用 ex. A: 牛(Alf) or A
- ・分かち書きなし: 単語の切れ目が不明
- ・書き順: ex. 左→右 or 右→左

7. エジプト・ヒエログリフ: BC31C～AD4C



〔表意文字〕

〔表音文字〕



トンパ文字(生きた象形文字:世界遺産(雲南))



8. Alphabet (表音文字) の誕生

① フェニキア文字

(アルファベットの原形)

	A		T		P
	B		Y		S
	G		K		Q
	D		L		R
	H		M		Š
	W		N		T
	Z		S		
	H		'		

22字

③ ローマ文字 (ラテン文字)

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

opqrstuvwxyz

26字

②

ギリシャ文字

() 内は物理・数学などの慣用読み

大文字	小文字	名 称	大文字	小文字	名 称
Α	α	アルファ	Ν	ν	ニュー
Β	β	ベータ	Ξ	ξ	クシー (クサイ)
Γ	γ	ガンマ	Ο	ο	オミクロン
Δ	δ	デルタ	Π	π	ビー (パイ)
Ε	ε	イプシロン	Ρ	ρ	ロー
Ζ	ζ	ゼータ	Σ	σ, ς*	シグマ
Η	η	エータ (イータ)	Τ	τ	タウ
Θ	θ	テータ (シータ)	Υ	υ	ユプシロン
Ι	ι	イオタ	Φ	φ	フィー (ファイ)
Κ	κ	カッパ	Χ	χ	キー (カイ)
Λ	λ	ラムダ	Ψ	ψ	プシー (プサイ)
Μ	μ	ミュー	Ω	ω	オメガ

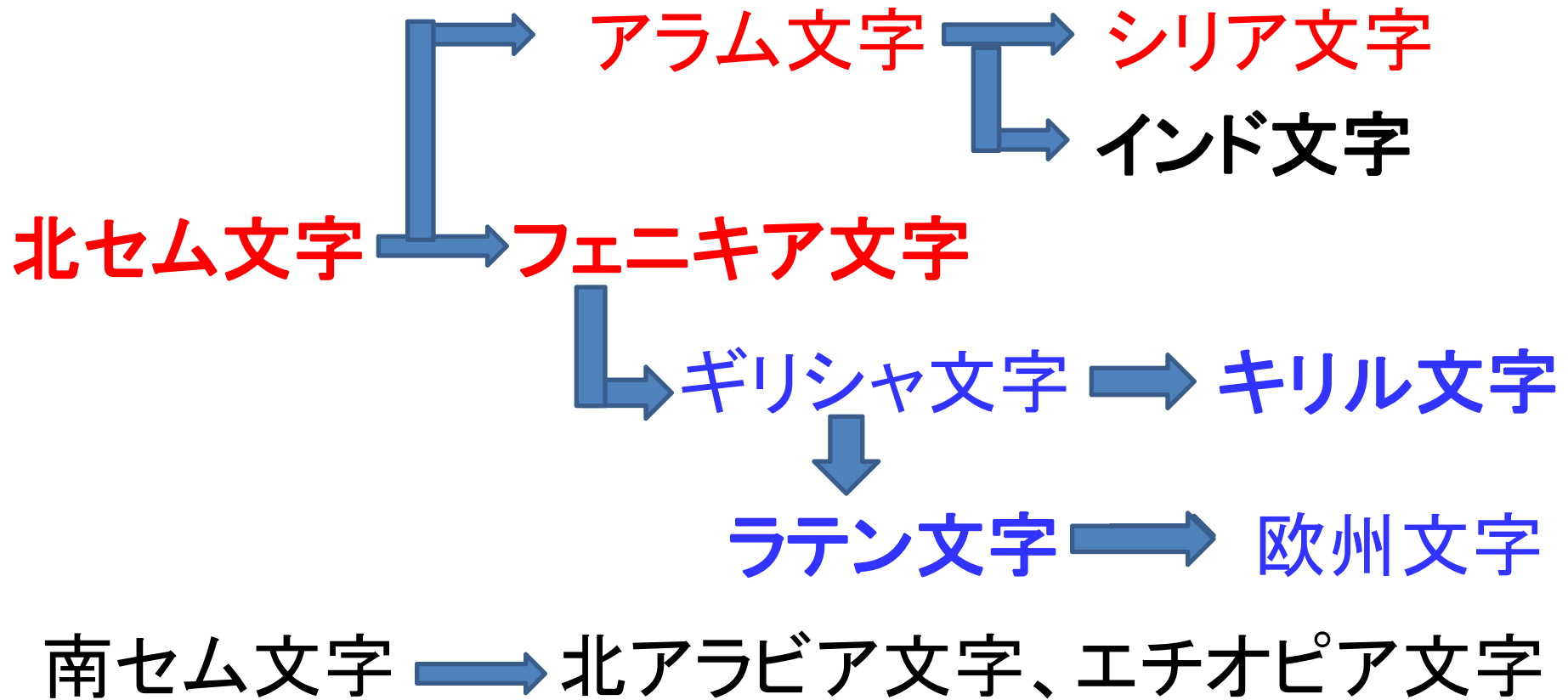
* 語末のみで、それ以外はσが用いられる。



24字

キリル文字 (ギリシャ系)

9. Alphabet (表音文字20~30字)の系譜



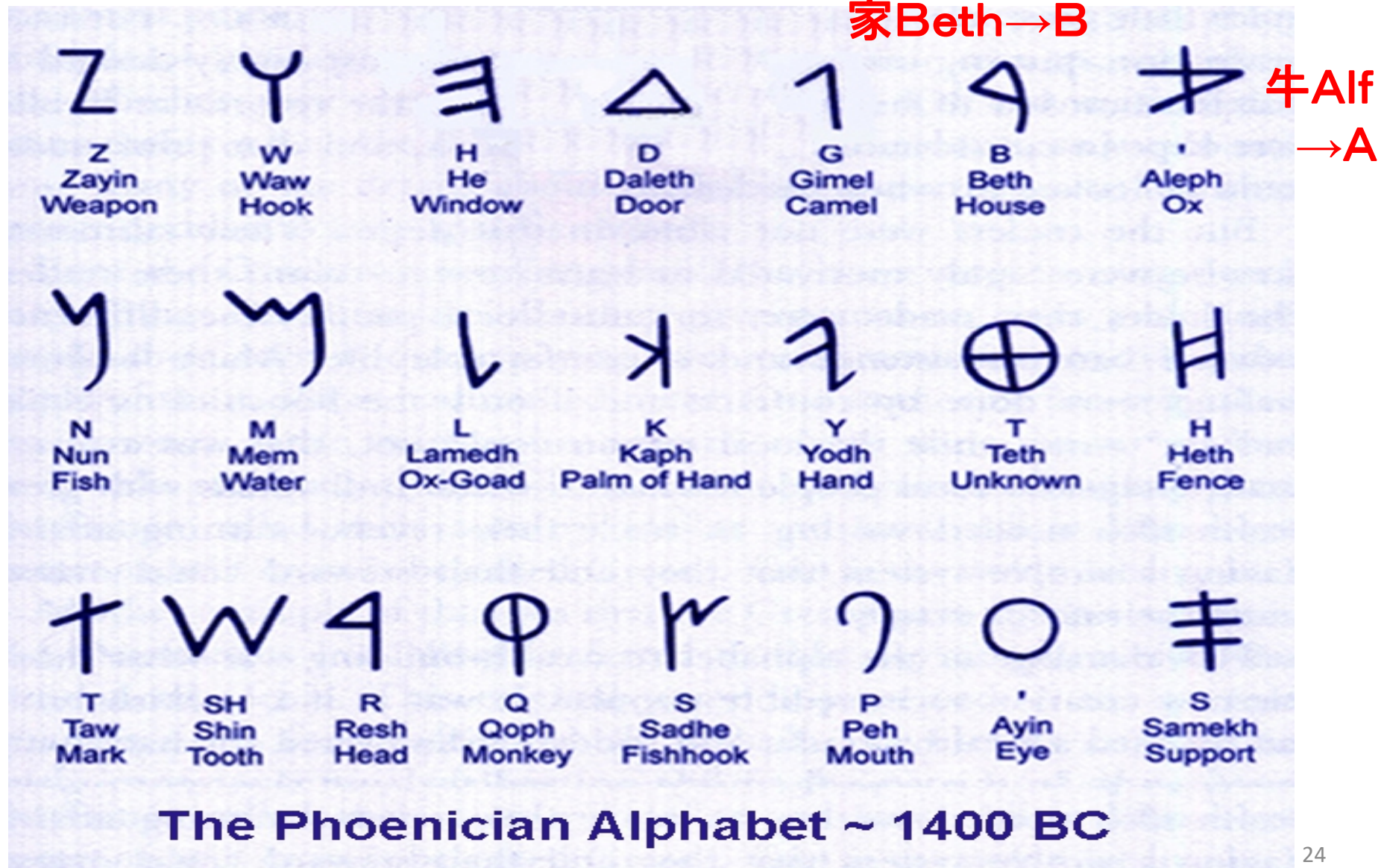
●**セム系**は子音のみ表示(∴**希・羅文字**が欧州他に普及)

①母音少ない(アラビア語:3)

②文脈から推定 ex.KTB→Ka**T**aB、Ko**T**eB、 Ki**T**aB、

彼は(書いた)(書きつつ)(書かれた) 23

10. フェニキア文字(アルファベットの祖)



11. ギリシャのアルファベット

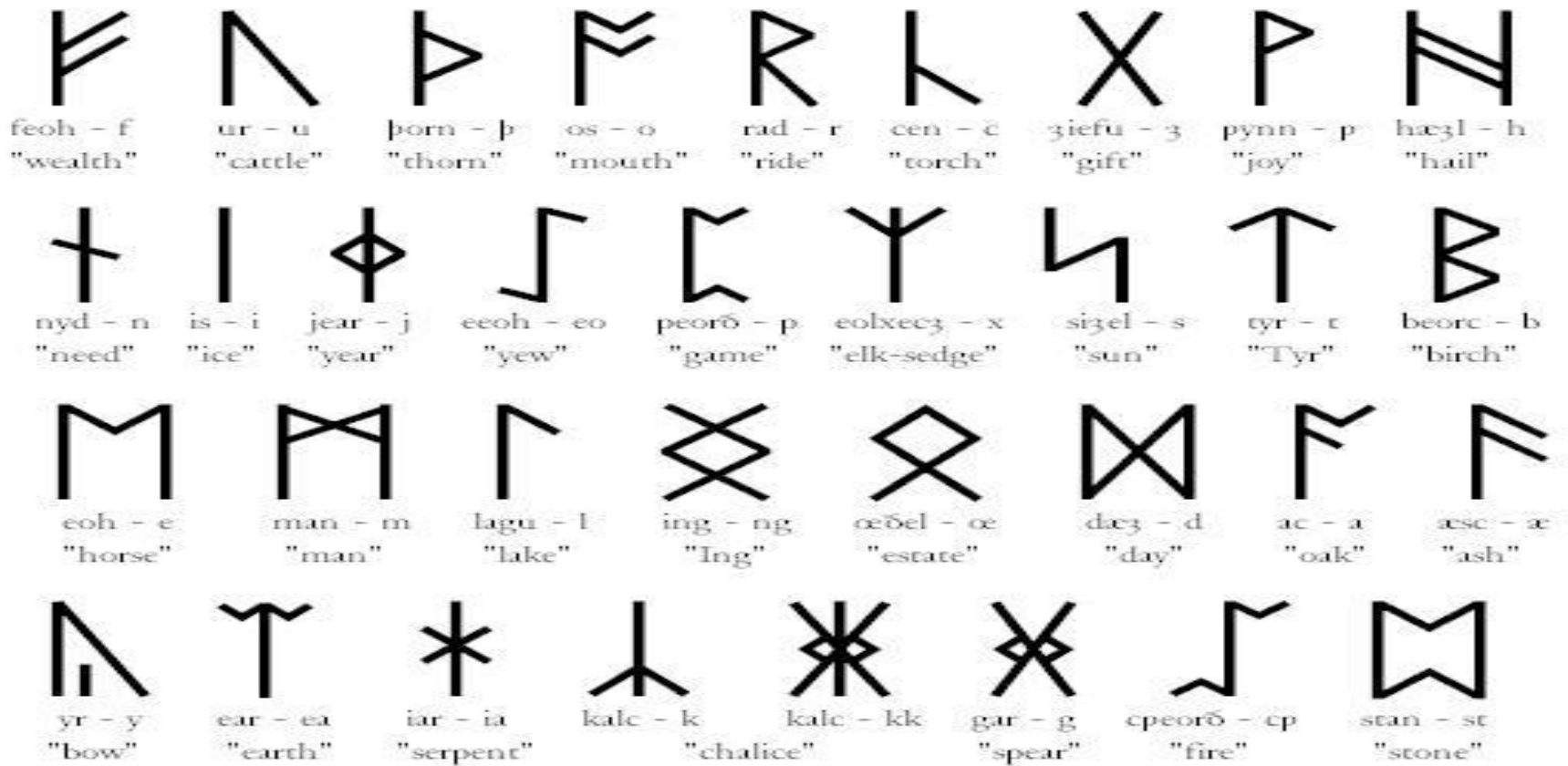
- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. A α (アルファ) alpha | 13. N ν (ニュー) nu |
| 2. B、 β (ベータ) beta | 14. ξ (クシー/クサイ) xi |
| 3. γ (ガンマ) gamma | 15. O o (オミクロン) omicron |
| 4. Δ δ (デルタ) delta | 16. Π π (パイ) pi |
| 5. E ε (エプシロン) epsilon | 17. P ρ (ロー) rho |
| 6. Z ζ (ゼータ) zeta | 18. Σ σ (シグマ) sigma |
| 7. H η (イータ/エータ) eta | 19. T τ (タウ) tau |
| 8. Θ θ (シータ/テータ) theta | 20. Y υ (ユプシロン) upsilon |
| 9. I ι (イオタ) iota | 21. Φ ϕ (フィー/ファイ) phi |
| 10. K κ (カッパ) kappa | 22. X χ (カイ/キー) chi |
| 11. Λ λ (ラムダ) lambda | 23. Ψ ψ (プシー/プサイ) psi |
| 12. M μ (ミュー) mu | 24. Ω ω (オメガ) omega |

12. キリル文字 (9C→ロシア他:ギリシャ正教圏)

А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К
Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц
Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь
Э	Ю	Я			

13. ルーン文字 (北欧→英・独、絶滅)

- ・1～2C頃 ギリシャAlfabetを基に北欧等に現れ、英・独等にも広まったが中世で廃れた。(ゴート文字も類似)
- ・呪術的目的、直線中心の文字(但し水平線なし)。



14. アラム文字 (アラビア文字、インド文字)

フェニキア文字

└─▶ **アラム文字** (BC10C、メソポタミア)

└─▶ **アラビア文字** ─▶ ペルシャ文字

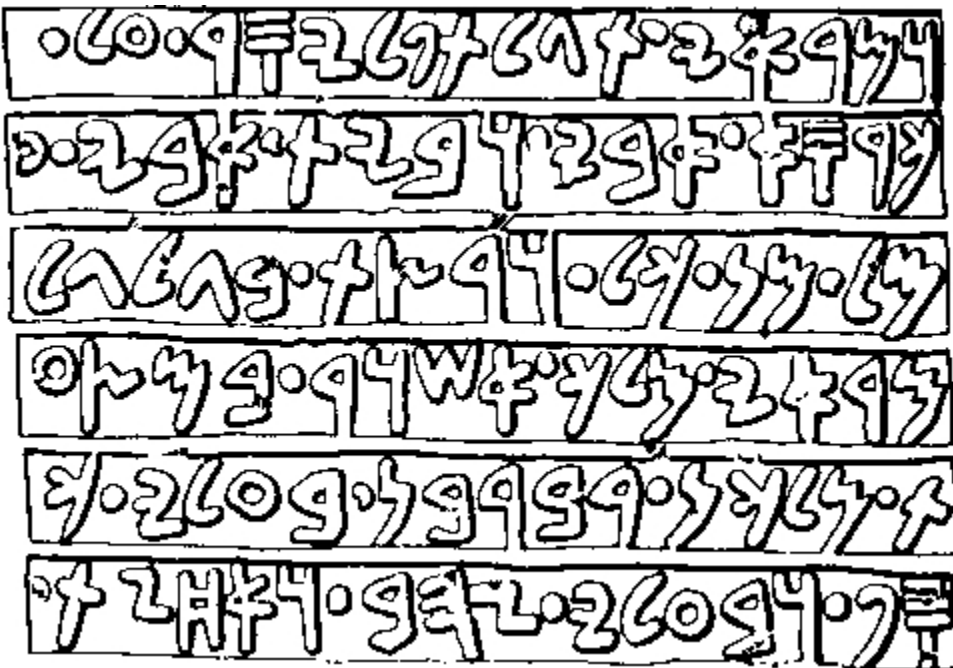
└─▶ ヘブライ文字、アルメニア文字

└─▶ シリア文字、ソグド文字、ウイグル文字、
モンゴル文字、満州文字

└─▶ **ブラフミー文字 (インド系)**

15. アラブ系文字

◆アラム文字



◆アラビア文字

اسمي هارونا
اهلا وسهلا!

◆ペルシャ文字

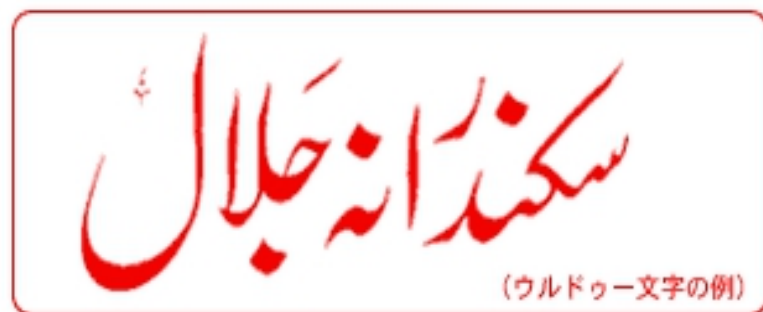
فارسی

【表音文字】

セム系文字では子音のみ
表し、母音は省略。

(文脈より推定)

◆ウルドゥー文字(パキスタン)



(ウルドゥー文字の例)

16. トルコ文字(オスマントルコ)

۱ ابن الله عيسى المسيح انجيلك ابتداسيدره • (۲) بيغمبرلرده
اشته بن يولكى اوكلجه حاضرليه جق اولان رسولى سنك
۳ اوكلدن ارسا ابد جكم • و ربك يولنى حاضرليكز طريقلري
طوغرلدكز ديدرك بريدده ندا ايدنك صداسى ديو تحرير
۴ اولنديغى اوزره • يحيى بريدده وافتيز ايدوب كناهلك عفو
• ايچون توبد وافتيزي اعلان ايدر ابدى • وبتون يهوديد

17. ソグド文字(イラン系:印欧語)



18. トルコ系文字①

◆ウイグル文字

ئۇيغۇرچە

◆西夏文字

𐰽

◆満州文字

ᡩᡠᡵᡠ

19. モンゴル文字(トルコ系)

[illegible]

20. インド系文字

アラム文字 (メソポタミア)

└─▶ **ブラフミー文字** (BC6C～インド)

└─▶ 北方インド系 (梵語、チベット 他)

└─▶ 南方インド系 (タミル文字 他)

└─▶ 東南アジア系
(タイ、ビルマ、ジャワ、ラオ、クメール 他)

21. 北方インド系文字

ओं मणिपद्मे हूं

ブラフミー文字
(デーヴァナー)

ཨོཾ་མ་ཎི་པ་དྲེ་མུ་ཙུ་ཙུ་

悉曇文字
(梵字)

ཨོཾ་མ་ཎི་པ་དྲེ་མུ་ཙུ་ཙུ་

チベット文字

22. 南方インド系文字 他

◆梵字(悉曇文字)

अ इ

◆ヒンズー文字

हिंदी

◇タイ文字

อักษรไทย

◇ミャンマー文字

မြန်မာစာ

◇カンボジア(クメール文字)

អក្ខរក្រមខ្មែរ

◇ラオス(ラオ文字)

ອາວິຍາວອາວ

IV. ことばと文字の普及

1. ことばの普及

- ことば：自然発生（部族毎に異なる）
- 異なる部族（言語）の接触 → 共通語が必要
 - 接触ニーズ：ex. 交易、婚姻、支配
 - 接触がない地域 → 多数の言語が存続
ex. ニューギニア、台湾山岳地帯
- 低位の文明は高度の文明（ことば）を模倣
 - 強制ではなく自然な変化
 - 変化（共通語の発生）の速度は早い
 - ピジン → クレオール

2. 文明語からの影響

・文明語からの借用の三段階

① **文字の借用** (固有の文字を持つ言語は希)

② **語彙の借用** (対応する語彙を持たぬため)

ex. 抽象概念を表す語、外来品

③ **文法の借用** (= 言語転換: 固有言語の放棄)

被支配地言語 ex. ラテン系言語、植民地言語

cf. ピジン、クレオール

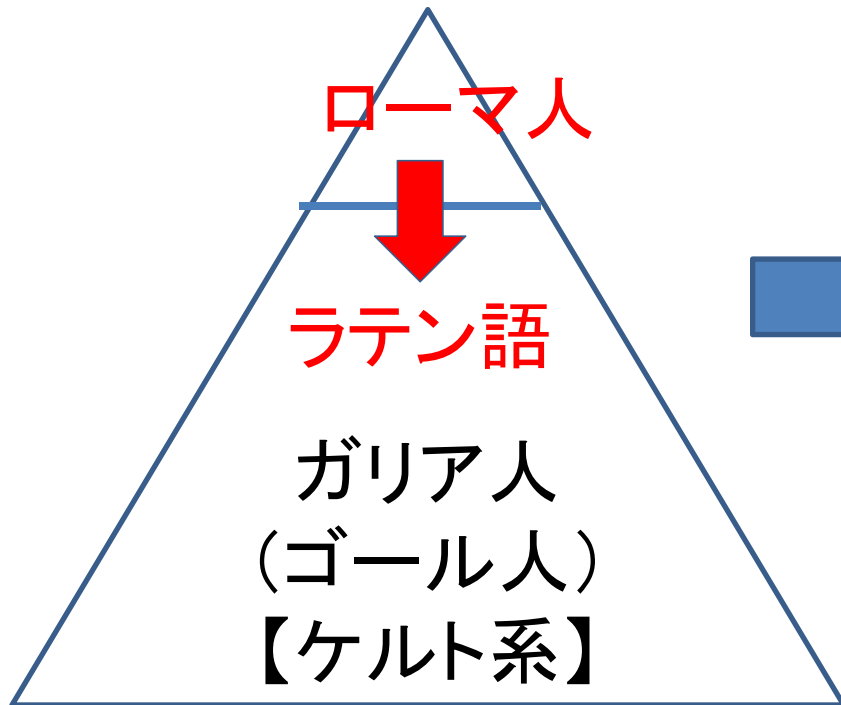
①～③: ラテン語→仏語、西語、葡語

①～②: ラテン語→英語、 中国語→日本語

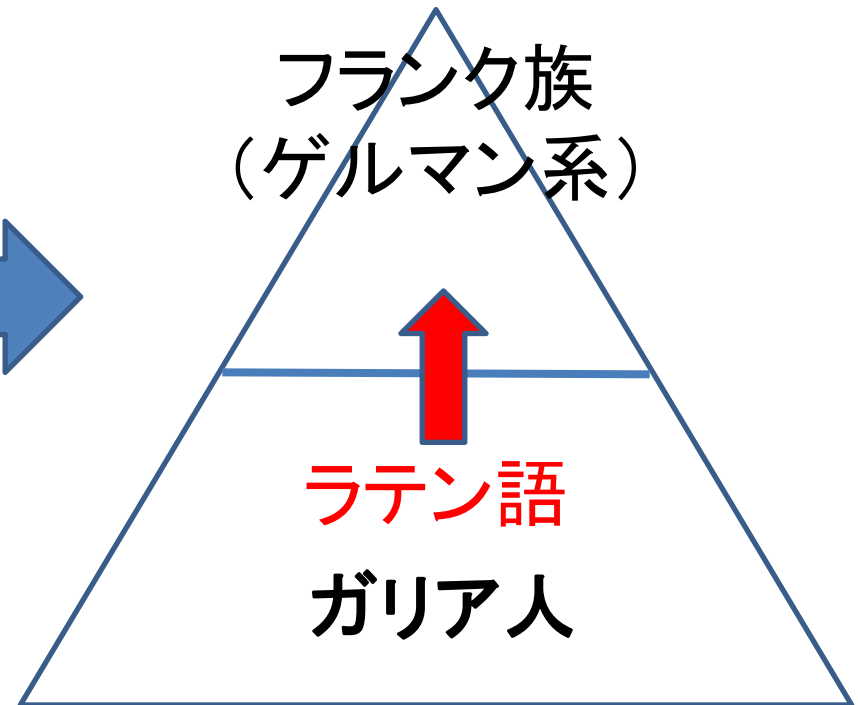
① 多数

3. フランスの場合

ガリア人(ローマ支配下)
の時代(BC3～AD5C)



フランク族の時代
(AD5C～)

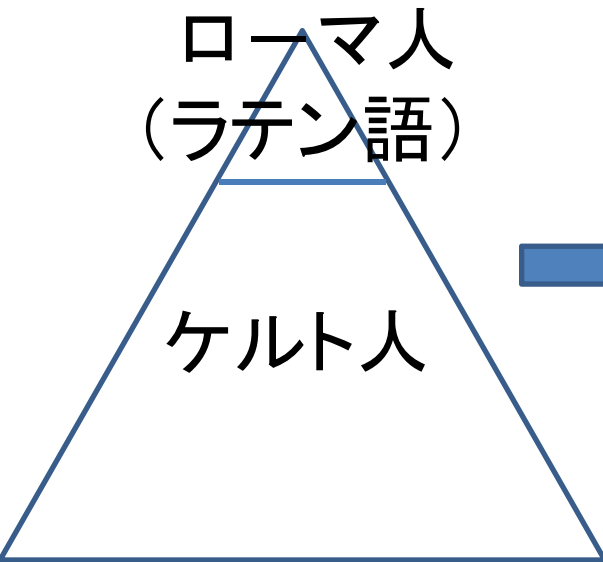


文明国の言語に転換(∵社会的・経済的に有利)

4. 英国の場合

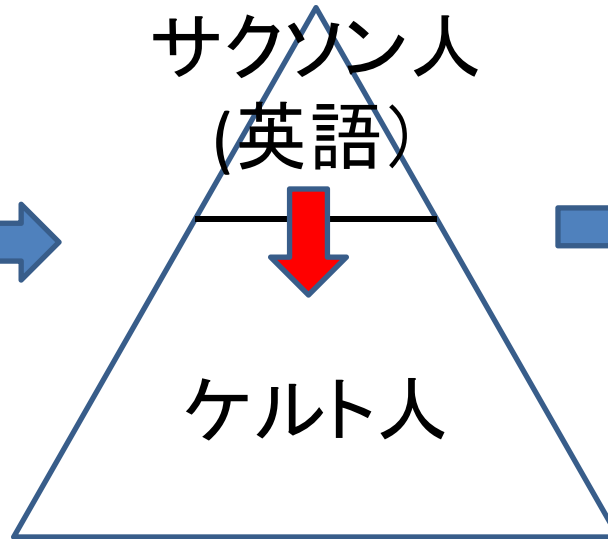
ローマ支配

AD1～5C



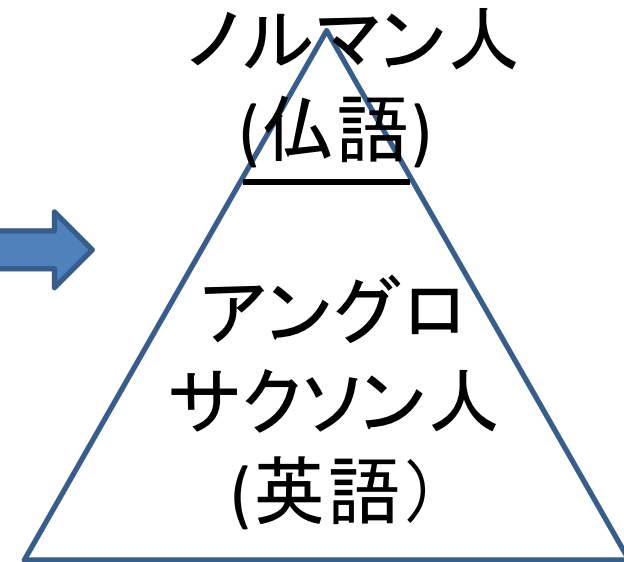
サクソン朝

5～10C



ノルマン朝

初期11C



- ・仏と同様ローマ人が支配したがラテン語には転換せず。
- ・アングロサクソンの侵入とともに英語が国語となる。
- ・但し語彙的にはラテン語・仏語からの借用が多い。

ex. 豚: pig (**porc**)、牛: cow (**beaf**)、羊: sheep (**matton**)

5. ことばと文字の伝播パターン

＜ことば＞

文明語

ピジン

★ Localization

クレオール

非文明語

＜文字＞

文明語

文明語

導入

非文字圏

★ 共にLocalizationを経て導入

ことば: ex. 文法の簡略化、現地語彙の保存

文字: 現地発音に合わせた表記の工夫 (o → ö、e → é)

6. 文字の波及のメカニズム

◇文字発明国(優位)→他の国・地域に拡大

●経済的理由(交易) ●政治的理由(支配→被支配)

●**宗教的理由(教典)**

◇受容国:言語(発音)に合わせ微修正(ex. Ö、û)

◇文化・宗教と共に文字が伝播(五大文字)

宗教	文字 →	主な伝播先
新旧キリスト教	ローマ	西欧、植民地(新大陸、アジア)
ギリシャ正教	キリル	ロシア・東欧
イスラム教	アラビア	中東、北アフリカ、アジア
ヒンズー・小乗仏教	ヒンディー	東南アジア
大乘仏教	漢字	日本、(ベトナム、朝鮮)

7. 欧州(文字≠宗教≠民族・言語)

宗教	文字	民族	国(言語)
新・旧教	ラテン文字 (ローマ字)	ラテン系	伊、仏、西、葡、ベルギー、ルーマニア
		ゲルマン系	英、独、蘭、スエーデン、デンマーク、ノールウェー、アイルランド、アイスランド、スイス
		アジア系	ハンガリー、フィンランド、エストニア、
		スラブ系	チェコ、スロバキア、ポーランド、リトアニア、ブルガリア、スロベニア、 <u>アルバニア</u> 、 <u>クロアチア</u>
ギリシャ 正教	キリル文字 (ギリシャ文字)	スラブ系	ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、ブルガリア、マケドニア、 <u>セルビア</u>
		その他	ギリシャ

8. 新大陸の文字(植民地＋宗教)

区分	国	宗主国	言語・文字
北アメリカ	アメリカ、カナダ	英国	英語・Alphabet
中南米	メキシコ、アルゼンチン、 チリ、ペルー、コロンビア 他 ブラジル	スペイン	西語・Alphabet
		ポルトガル	葡語・Alphabet
大洋州	豪州、ニュージーランド	英国	英語・Alphabet

(参考)先住民の文字

区 分	先住民	文 字
北米	アメリカインディアン	なし
中南米	マヤ (3～17C メキシコ) アステカ(12～16C メキシコ) インカ(13～16C ペルー)	マヤ文字(象形+表音) アステカ原文字(絵文字) なし(ひも記号)
大洋州	アボリジン他	なし

9. アラビア文字(イスラム圏)

◇イスラム教国≡アラビア文字

●イラン: 民族: ペルシャ人(印欧系)、言語: ペルシャ語(印欧系)

宗教: イスラム教 → ペルシャ(アラビア文字)

●インドとパキスタン(共に印欧系民族・言語)

国	言語	宗教	文字
インド	ヒンディー語	ヒンズー教	ブラフミー(インド)系文字
パキスタン	ウルドゥー語	イスラム教	ペルシャ(アラブ)系文字

○例外

国	言語	宗教	文字	備考
トルコ	トルコ語	イスラム	ローマ字	1923政教分離
インドネシア	ネシア語	イスラム	ローマ字	オランダ領→米領
マレーシア	マレー語	イスラム	ローマ字	英領
カザフスタン	カザフ語	イスラム	キリル	旧ソ連領

10. 東南アジアの文字(宗教＋植民地)

国	言語(系)	文 字	宗 教	備 考
インド ネシア	ネシア語 (マレー系)	アラビア系 →ローマ字	イスラム	オランダ 植民地
マレーシア	マレー語	アラビア系 →ローマ字	イスラム	英植民地
フィリッピン	タガログ語 (オストロネシア)	インド系 →ローマ字	キリスト教	西→米 植民地
ベトナム	ベトナム語	チュノム(漢字) →ローマ字	大乘仏教	中国冊封 →仏植民地
ミャンマー	ミャンマー語	ビルマ文字 (インド系)	小乗仏教	英植民地
タイ	タイ語	シャム文字 (インド系)	小乗仏教	非植民地
ラオス	ラオス語	ラーオ(インド)	小乗仏教	仏植民地
カンボジア	カンボジア語	クメール(インド)	小乗仏教	仏植民地)

V. 漢字と日本文字

1. 甲骨(亀甲)文字: 最古の文字

◇中国 殷時代(BC11C頃)の最古の文字

記録と占いの目的から生れた象形文字→漢字の祖型



2. 漢字：世界で唯一の表意文字

◇世界：表**意**文字→表**音**文字（Alphabetが世界に普及）

◇何故生き残れたのか？

① 漢字は最古の文字の一つ（BC11C）。

仏教伝来（AD1C）→漢字に翻訳、儒教・道教と共存。

② 中国語：**無活用**（語根のみ）→**全単語を1字**で表示

ex.動詞 ex.走、吃、看

● 中国語（**孤立語**）：活用なし、語根のみ（≡不定詞）

◇ 欧米語（屈折語）：活用→語尾変化（複雑）

動詞（仏語）→人称**6×12**（時制、態etc）=**72**の変化

◇ 日本語他（膠着語）：食べ**＋させ＋られ＋る**

3. 漢字(続き)

◇ 殆どが1音節(子音 + 母音(音節文字)) = 1文字

cf. 母: 妈(mu) [1音節] vs 母(はは)、mother [2音節]

◇ 表意文字の弱点(膨大な文字数)を補う工夫

① 四声(ピンイン): 同音語を区別

ex. マ = 妈(母)、骂(叱)、马(馬)、吗(?)

② 機能語(付属語)は表音文字化

ex. 助詞: と = 和、へ = 往、向

助動詞: される = 被、させる = 使

③ 新漢字を効率よく創り出す仕組み(六書): 後述

④ 簡略化(簡体字)

ex. 雲 = 云、個 = 个、郷 = 乡、産業 = 产业

4. 漢字の創造(六書)

◇ Alphabet (表音文字: 26字で全ての語・文を生成)
VS 漢字 (表意文字 1~10万字必要、cf. 常用漢字 2千字)
→ 新字産出の仕組み + 表記の簡略化

- ① 象形文字 (原形):  月、 人、 魚、 牛、
- ② 指事文字: 抽象概念 → 図形化 ex. 上、下、一、二
- ③ 会意文字: 合成 ex. 木 + 木 → 林、女 + 取 → 娶
- ④ 形声文字: 偏 (意味) + 旁 (音、意味) → 新概念
ex.  + 青 = 清、 + 工 = 江、 + 巷 = 港
 + 袁 = 遠、 + 斤 = 近、 + 首 = 道
- ⑤ 仮借 (当字): ex. (外来語) 仏陀、可口可乐 (樂)
- ⑥ 転注: 樂 (音楽) → 樂 (楽しい)

5. 漢字(字体)の変遷(六書)

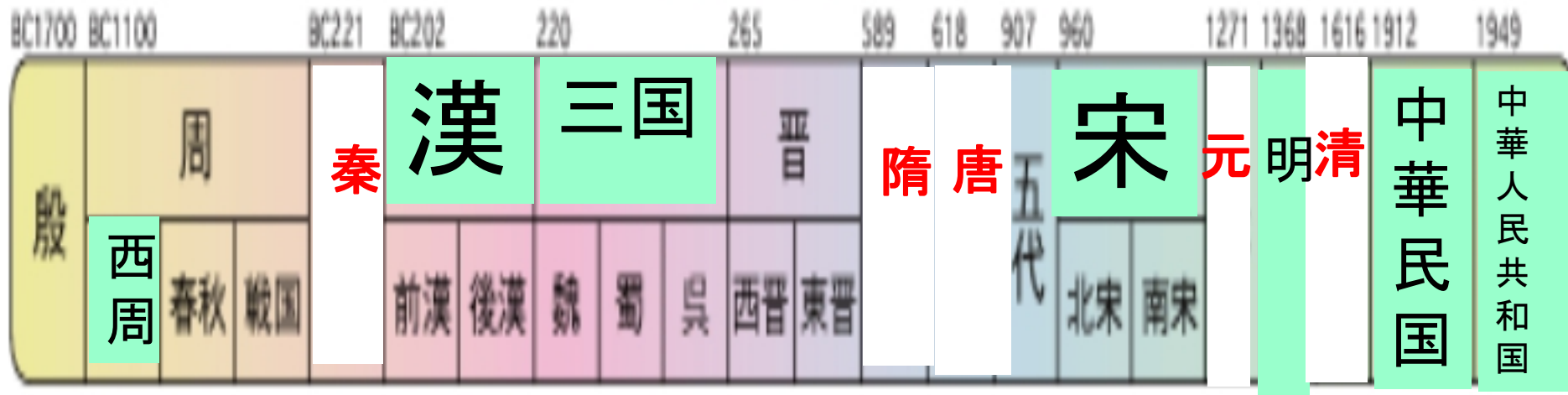
甲骨文 占い(殷) -3千年	金文 殷・周 BC10C	大篆書 春秋戦国 BC8-4C	小篆書 秦 BC3C	隸書(官僚) 漢 1C~	楷書 後漢 2C
					
					
					明朝体 明~清 康熙字典

6. 中国語(発音と文字の分離)

言語(話し言葉、発音)	文字(表記)
北京語(普通語) + 方言 * (* 上海語、広東語、福建語 長沙語、江西語、客家語他)	漢字(全国統一)

- ・欧州に例えれば、仏語、伊語、西語、ポ語が発音の違いを残したまま表記を一元化。
- ・これを可能にしたのは、中国語は**表意文字**でかつ**無活用(独立語)**であるため。(但し現在は全員が普通語を話す)
- ・これにより多様な言語(民族、文化)を包摂しつつ求心力のある漢字文化(or統一国家)を維持できた。
Cf. 中国: 武<文(ex. 科挙)

7. 中国の歴代王朝



- ・中国史(周～) : 3300年
- ・純漢人王朝 : 約1500年(45%)
(西周350、漢420、三国50、宋310、
明250、中華民國50、人民共和國70)
- ・中国の歴史＝漢民族と異民族の闘争と混交の歴史
* 匈奴、鮮卑、突厥、西夏、蒙古、女真 etc
- ・異民族国家(元・清)による国土拡大(焼け太り)
(西藏、内蒙古、満州、新疆)

清の版図

世界の歴史まっぷ

キャプタ条約による
国境線(1727)

ネルチンスク条約
による境界線(1689)

満洲

蒙古

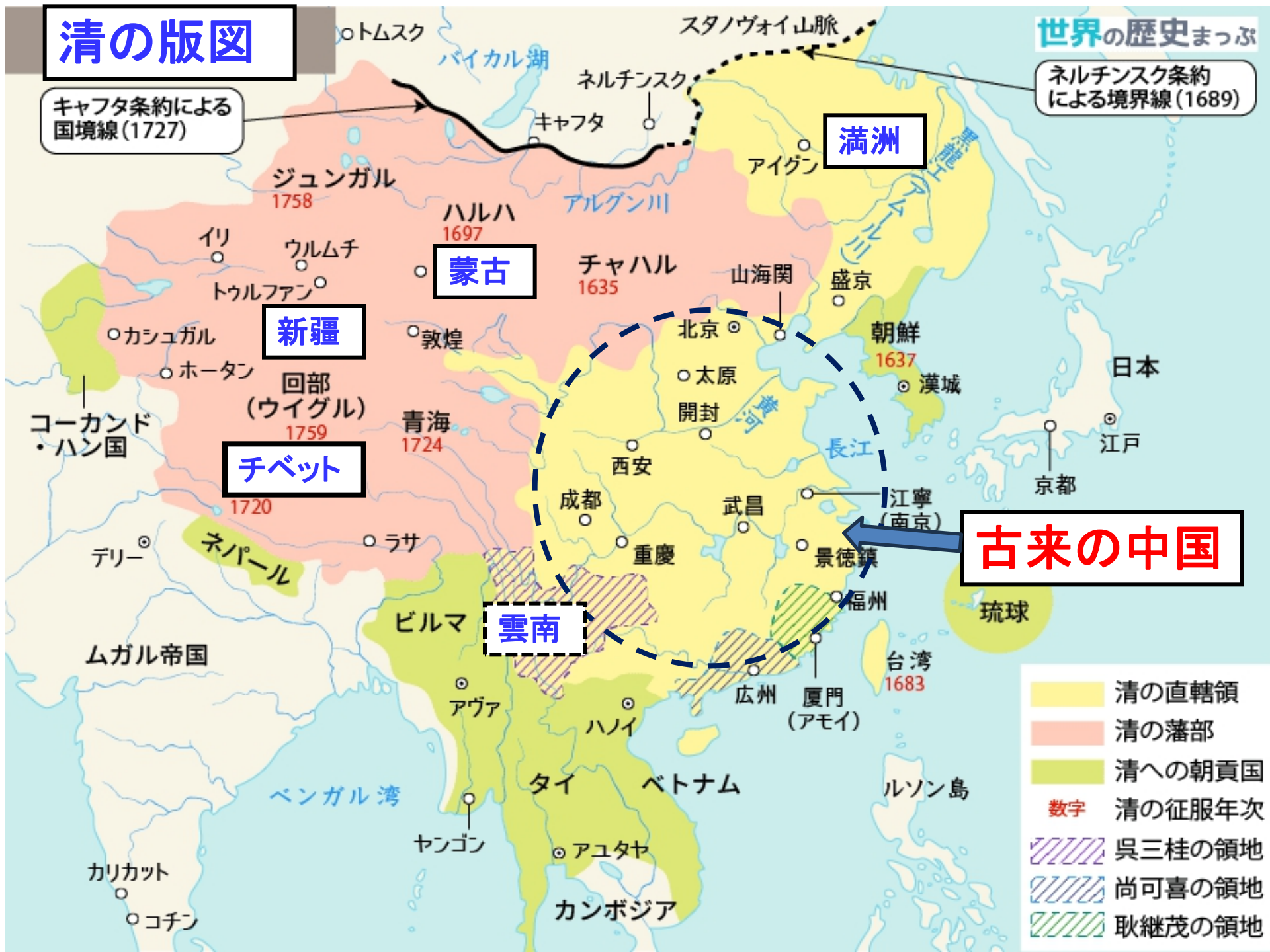
新疆

チベット

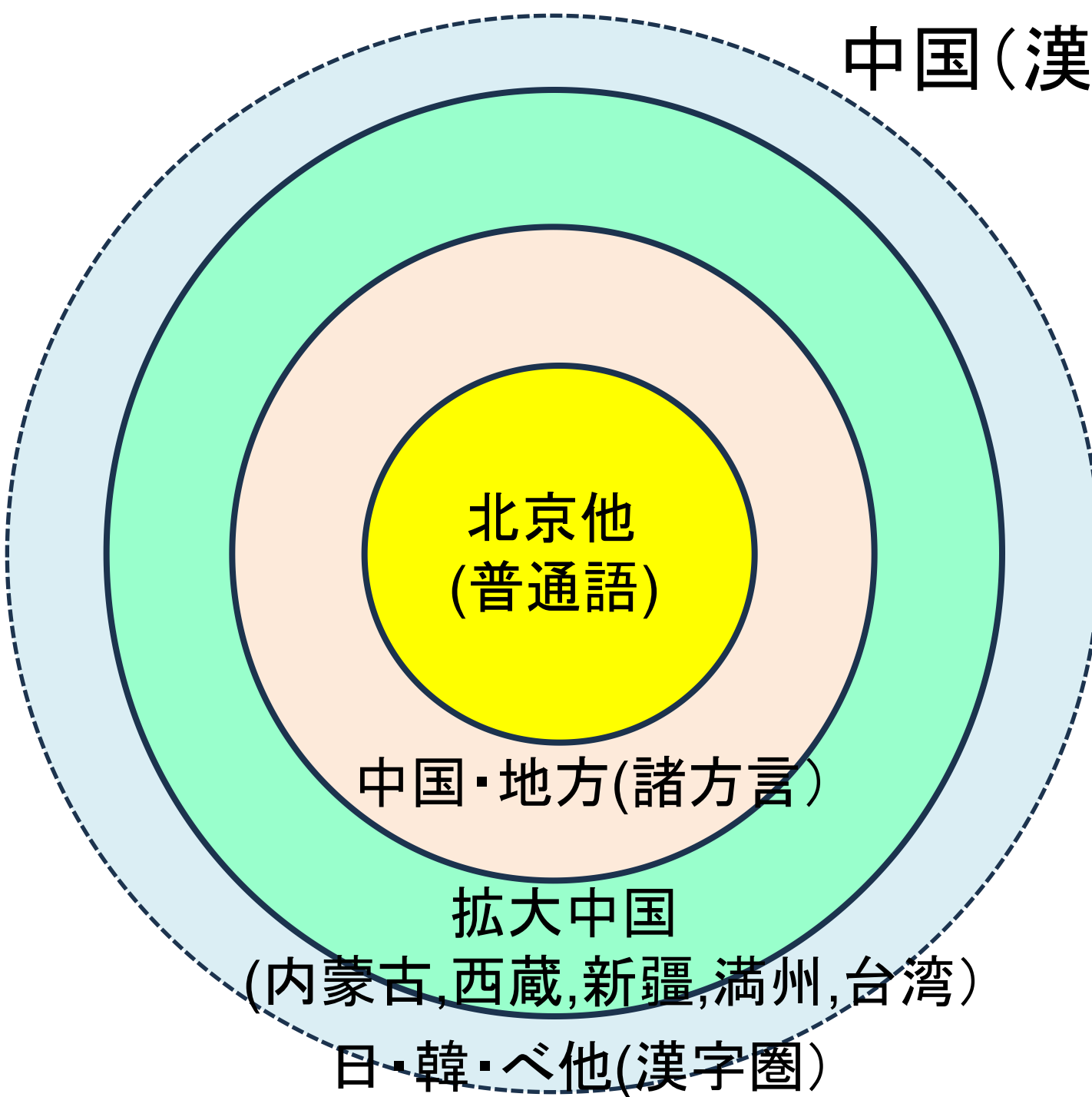
古来の中国

雲南

- 清の直轄領
- 清の藩部
- 清への朝貢国
- 数字 清の征服年次
- 呉三桂の領地
- 尚可喜の領地
- 耿継茂の領地



中国(漢字)文化圏



◇ 中国史：漢民族中心（中華思想）史

漢字文化の強み

CF. 異民族名称（無文字→当て字（**蔑称**））

- **蒙**古：**蒙**（meng：**愚か**） 古（nu：純朴）
- 匈**奴**：匈（xiang：フン） **奴**（nu：**奴隸**）
- 鮮**卑**：鮮（xian：新鮮） **卑**（bei：**下劣**）
- 突**厥**：突（tu：突き進む） **厥**（jue：**卒倒**）
- **吐**蕃：**吐**（tu：**吐く**） 蕃（fan：茂る）

8. 消えゆく文字：中央アジア

文 字	系 統	使用国・民族	備 考
突厥文字 (5～13C)	ソグド文字 (古チュルク)	突厥(トルコ系) (→ウイグル文字)	表音文字 消滅
ウイグル文字 (8～12C)	ソグド文字 (シリア系)	ウイグル(トルコ系)、契 丹(蒙古系)、蒙古、満州	右から横書き →縦書き
契丹文字 (10～12C)	ウイグル系 (未解読)	契丹(蒙古系)	漢字を借用、表 意+表音、 消滅
モンゴル文字 (14C～)	ウイグル系 (縦書)	蒙古	内モンゴ(外モンゴ はキリル文字)
満州文字 (16～20C)	蒙古系 (縦書)	満州 (←女真文字12C～)	言語も文字も ほぼ 消滅
西夏文字 (11～14C)	漢字系 (表意文字)	西夏(タングート族、チ ベット系(言語・宗教))	縦書(偏+旁) 消滅
チベット文字 (7C～)	インド系	西藏(吐蕃)、蒙古	左から横書き チベット仏教

9. 日本の文字(歴史)

- ① 神代文字: 漢字以前の文字(諸説あるが未確認)
- ② 漢字の伝来: 3~4C→7C(奈良時代)に普及
表意文字として伝来(ex漢字: 山 = ヤマ: 大和言葉)
- ③ 万葉仮名: 表音文字(≒Alphabet)として活用
8C: 万葉集、日本書紀
ex. 阿里 = アリ → 固有名詞や助詞等が表記可能
- ④ 仮名の発明(←万葉仮名)
漢字→草書体化(ex女性の手紙)→平仮名
漢字→略体化(ex. 加→力)→片仮名
- ⑤ ローマ字表記: 葡宣教師→明治: ヘボン式、訓令式

日本：漢字の導入(1)

感<sup>ジ
テ</sup>
時<sup>ハ
ニ</sup>
花<sup>ニ
モ</sup>
濺^シ
涙^ヲ

城^ニ
春<sup>シ
テ</sup>
草^ニ
木^シ
深^シ



国^ニ
破<sup>レ
テ</sup>
山^ニ
河^ニ
在^リ

漢文読下し(漢文和訳)

発音, 語順を無視し意味のみ理解

① 読み順の変更; ex. 返り点

SVO(漢語)→SOV(和語)

② 送り仮名の追加

孤立語(漢語)→活用語(和語)

gu (国) P (破) Sh n(山) h (河) z i(在)

h ng(城) Ch n(春) C o(草) m (木) Sh n(深)

g n(感) Sh (時) hu (花) ji n(濺) l i(涙)

◇漢字の導入

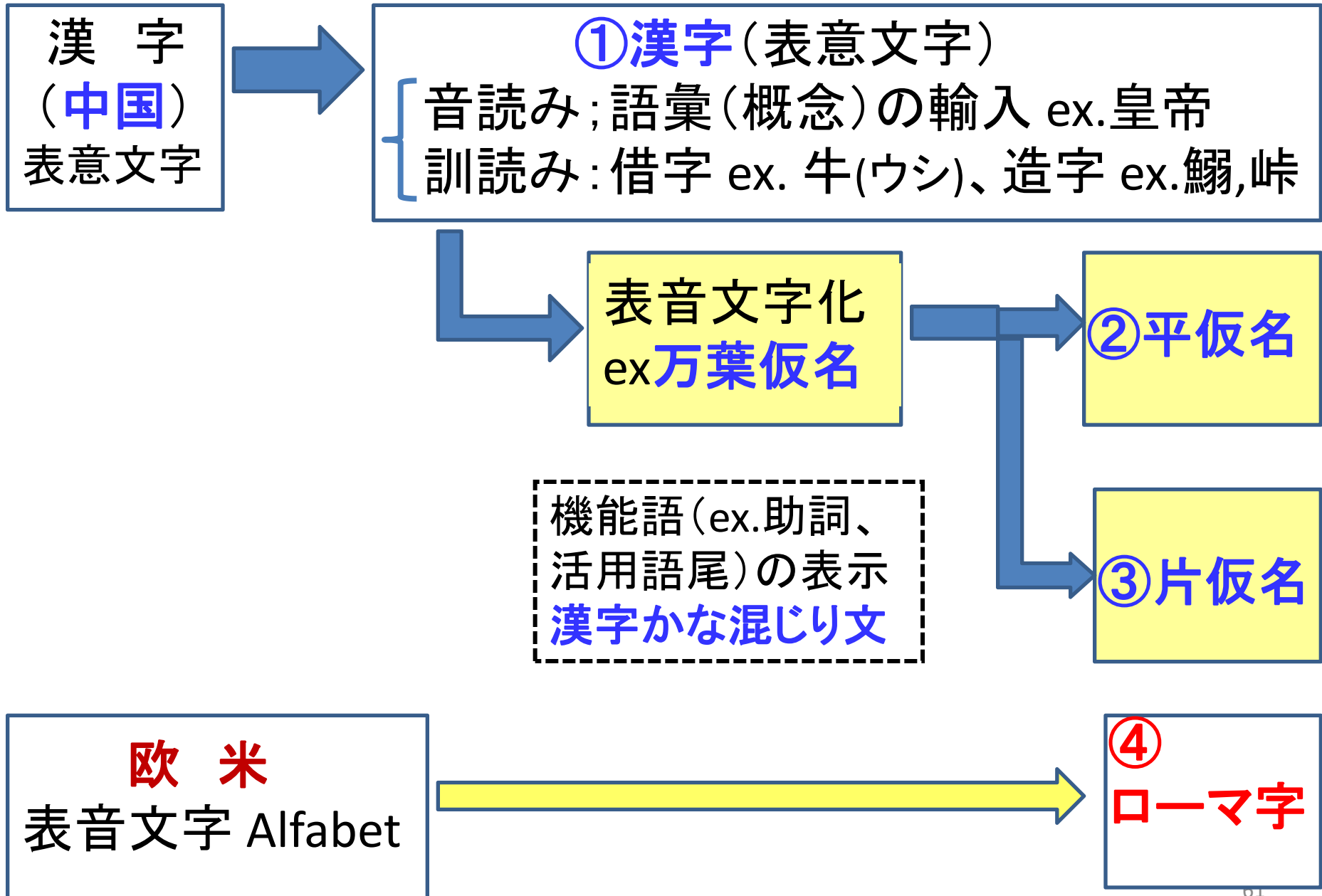
(2) 音と訓

- ・ **音読み** : 漢字の本来の読み(発音)を導入
(÷ **外来語**) ex. 国(gu) → コク
- ・ **訓読み** : 読み(発音) は和語に置き換え
(**文字の借用**) ex. 国(gu) → クニ

(3) 仮名の創造(表意文字(漢語) → 表音文字)

- ・ 万葉仮名 : ex. 阿 → あ
- ・ 片仮名 : ex. 阿(β) → ア
- ・ 平仮名 : ex. 安 → あ

日本の4文字(漢和洋の折衷)



12. 日本：文字の変革

◇日本の文字は国際化の壁？

- ・Alphabetが大勢で漢字圏は孤立(cf.日本は4文字)

◇漢字廃止論等

- ・江戸期：賀茂真淵：漢字廃止→平仮名
- ・明治：前島密・福沢諭吉、森有礼(簡略英語化)

◇ローマ字派等

- ・戦後：GHQ他(ローマ字)、志賀直哉(仏語化)

◇表記の簡略化

- ・戦後：漢字の制限(常用漢字)、旧→新仮名遣い

◇他の漢字圏の動き

- ・ベトナム・韓国⇨廃止、中国→簡体字

付1；朝鮮のハングル文字

- 1443世宗(李朝)により公布。
- 漢字から脱却し創出された国民文字。
- インド系ブラフミー文字→チベット文字→パспа文字(元朝)等の系譜のもとに作られた表音文字。
- 子音(基本14+5)と母音(基本10+11)で合成された音節文字(=仮名)。

S →  ← a
ㅏ(sa)

S →  ← o
ㅗ(so)

- 陰陽五行説

付2: 文字と芸術

春眠不覺曉
處處聞啼鳥
夜來風雨聲
花落知多少

李玄書



塔と梵字





アラビア文字：偶像が禁
止されたイスラムでは、
文字そのものが装飾

アラビア文字：偶像が禁止されたイスラムでは
文字そのものが装飾

ドイツ文字:FRAKTUR(ひげ文字、亀甲文字)



Tannenbaum

O Tannenbaum, o Tannenbaum,
wie treu sind deine Blätter!

Du grünst nicht nur zur Sommerzeit
nein auch im Winter, wenn es schneit.

O Tannenbaum, o Tannenbaum,
wie treu sind deine Blätter!

Volkswaise

ドイツ語
Fruktur

Wer unter Gott
ist



Der befeh,

Der redet anders.

Der denkt anders.

Der glaubt anders.

Der liebt anders.

Der stirbt anders.



மாநகரப் பேருந்து
சென்னை

インド文字

【参照文献】(★:お勧め)

- ・Calvet ,Luis-Jean「文字の世界史」1998河出書房新
- ・Fischer,Steven「文字の歴史」2005研究社
- ★ Jean , George「文字の歴史」1994創元社
- ★Robinson, Andrew「図説; 文字の起源と歴史」2006創元社
 - ・Millet , Antoine「ヨーロッパの言語」2017岩波書店
 - ・黒田龍之助「はじめての言語学」2004講談社新書
 - ・黒田龍之助「世界の言語入門」2008講談社新書
 - ・河野六郎「文字論」1994三省堂
 - ・柴田武編「世界のことば小辞典」1993大修館
 - ・世界の文字研究会編「世界の文字の図典」1993吉川弘文館
 - ・田中克彦「クレオール語と日本語」1999岩波書店
 - ・西尾哲夫他「文字の博覧会」2006LIXIL出版
- ★町田和彦編「図説 :世界の文字とことば」2009河出書房新社